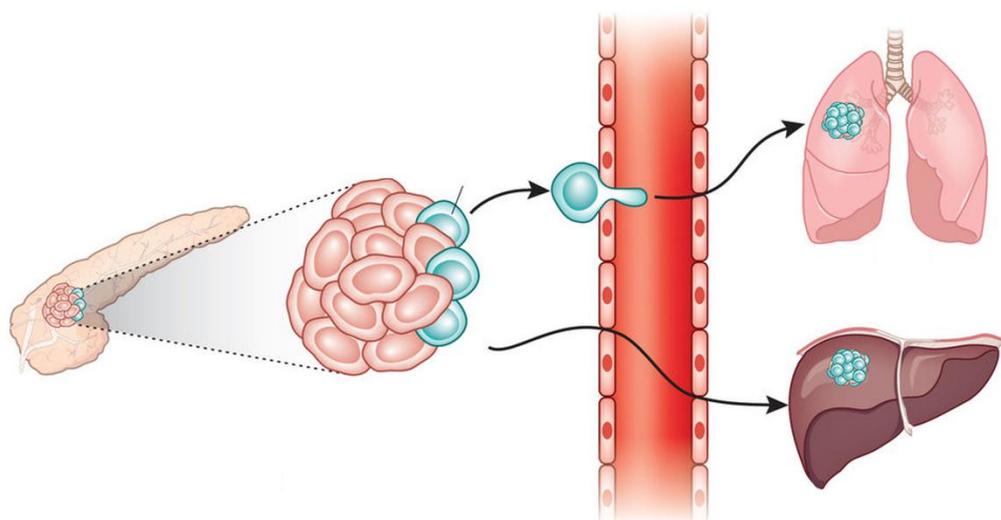


すい臓がん発見時のステージについて

— 4割がすでに「末期」 —

国立がん研究センターが公表した「がん診療連携拠点病院」の2014年の診療実績によれば、すい臓がん患者の4割が治療前の時点で最も進行した「4期」に達し、既に他の臓器などに転移していることがわかりました。



がんの病期は0～4期に分かれ、数字が大きいほど進行しています。すい臓がん（1万4482例）の治療前の病期で見ると、4期（43%）と3期（13%）、2期（27%）で計8割を超し、診断時点ですでに進行していました。

すい臓がんの病期別5年生存率

病期	症例数(件)	5年相対生存率(%)
I	206	41.3
II	626	17.8
III	654	6.4
IV	1,626	1.4
全症例	3,250	9.0

すい臓がんで発見時に4期の人が多いのは、自覚症状に乏しく、検診での発見が難しいのが原因とされています。

